

極めればミッドシエル

中間着に呼吸するシエルを着る新発想
身も心も行動も軽快に！



開発の背景

1. 「ミッドシエル」の提案

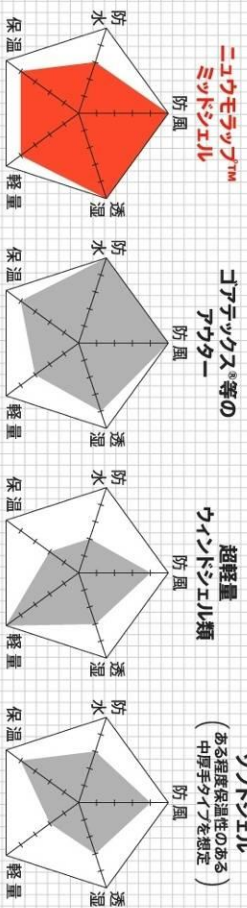
従来、中間着は適度な保温性があり安価なフリースに人気があります。しかし、発汗量の多い運動をする登山・スキーツアーなどのアウトドアスポーツにおいて、フリースは防風性が低く風の強い状況ではアウターを脱ぐことができない、重くかさばるため脱いで温度調整がしにくい、という2つの悩みがありました。finetrackでは、各レイヤーがシステムとして機能するレイヤリングを追求。中間着に防風性と透湿性に優れた軽量シエルを着用することで、内外からの汗・雨や風など悪条件への対応を強化。衣服内に2つのコンパクトな空気層を作り効率的に保温性を調節可能にする「ミッドシエル」を提案しました。生地そのものにデットエアを持たせる従来の中間保

温着と比較してベンチレーターも非常に有効に機能します。これによって、レイヤリングの温度対応幅が大きく広がり、ウェアの携行・着脱を減らし、バックカントリーでの行動を身軽にすることができます。

2. ベストなミッドシエル素材を求めて

finetrackが次に目指したのは、より軽く、より透湿性が高く、機能的にも優れた「ミッドシエル」をつくること。防風性と透湿性を表現する方法として、2つアプローチが考えられます。ひとつは、織物を高密度に織ることによって防風性を高める、超軽量ウインドシエルなどで採用されているアプローチです。しかしこの方法は、極薄の生地でfinetrackの求める透湿性の実現が困難でした。

そこで採用したのは、メンブレンを生地中にラミネートするアプローチ。ジャパンコテックス(株)の協力を得て、完全な防風性と最高水準の透湿性を持ったWINDSTOPPER®メンブレンを極薄の表・裏地にラミネートした三層生地を完成。この極めて優れた特性を持った生地に、立体デザインや独自のベンチレーターなど機能面も徹底的に追及、飛躍的に優れた性能を持つミッドシエル、「ニユーモラップ™」が誕生したのです。



ミッドシエルとして防風性と透湿性の高さが特長。穏やかなコンディションでは、アウター的使用も可能で、総合力も優れる。

外部環境からのプロテクションが最大の目的のため、防風性と防水性の高さが特長。総合力は高い。

軽さが最大の特長。穏やかなコンディションで風を防ぐことが目的であり、透湿性は一概に思われていないほど高いものではない。

生地そのものの保温性は一番高く、乾いた雪が降るような低温化の条件で快適。汎用性はあまり高くない。

ニューモラップ™

NEW SERIES

中間着にシェルを着ることで、内外からの汗・雨や風など悪条件への対応を強化。効率的に保温性を調節し、レイヤリングを進化させる「ミッドシェル」。ニューモラップ™は、優れた防風性と最高度の透湿性を備えたミッドシェルです。動きやすい立体デザイン、アールドでの実践から生まれた斬新なベンチレーターを備え、軽量・コンパクトにも優れます。用途に応じた3モデルをライオンナップス、登山、バックカントリースキー、クライミング、ランニング、トレイルラン、自転車など、オールシーズン幅広いアウトドアスポーツで活躍します。



軽量、コンパクト

3レイヤー生地として最高レベルの極薄の生地を採用。非常に軽量で携帯時も極めてコンパクトに収納可能です。

激しい運動でも蒸れにくく、幅広い温度域に対応

ニューモラップ™の生地は、最高度の透湿性を備え、アウターエリアや中間着が処理した汗の蒸気を効果的に放出します。さらに、胸付近から体側を通して背面まで通す。状況に応じて開放位置の調整可能なベンチレーターを装備。激しい運動時も前から大量の外気を取り入れる事ができ、幅広い温度域で快適さを保ちます。



万全な防風性と、優れた保温性

万全な防風性を持ち、衣服内の暖かい空気を閉じ込める優れた保温性があります。ミッドシェルによって2つの空気層に分けることにより、アウター内外の温度差を小さく抑え、アウター内側の結露を軽減する効果もあります。また、生地レベルで耐水性があり、アウターからの雨などの漏水や結露から、ミッドレイヤーの濡れを防ぎ、単体使用時も多少の雨ならば行動可能です。

動きやすい立体デザイン

肩、ひじなどのあらゆる動きにストレスを感じさせない、立体デザインを採用。追従性に優れた生地と合わせて、動きの激しいスポーツにも対応します。



レイヤリング着用例

BCスキー/スノーボード、冬季・厳冬期登山

中間着として使用するのがミッドシエルのペーシングな使い方は、アウター、ミッドシェルそれぞれがコンパクトな空気層を形成し、効率的に保温性を高めます。ハイクアウター、ラッセル時などの発汗量の激しい運動時は、ミッドシェルを着用することで寒風下や、多少の雨・雪のもとでもアウターなしで行動が可能です。温度調節が容易な機能的ベンチレーターも装備しているため、対応温度域が大変広く、アウターの着脱を最小限にします。使用しない時も、非常にコンパクト。ニューモラップ™の下には、トラウトセンサー®、スバイルフイル™アムダー、フットラップス®スキャンシステムを状況に応じて重ね着してください。軽量なジャケット、やや保温性の高いEXジャケットモデルを好みに応じてチョイスするのをお勧め。フーディモデルのフートもコンパクトで、アウターの下に着用しても邪魔にならない。ヘルメットのインナーフートとして使用することも見逃せません。



春から秋の登山・トレッキング

コンパクトな中間保温着として、またプラス一枚の軽量防寒具として大変便利に使用できます。穏やかな天候の時はアウターとして蒸れにくく快適で、多少の雨であればそのまま行動可能です。本格的な雨天時は雨具の下に着用し、2重の雨対策で体を濡れにくくします。ニューモラップ™の下には、トラウトセンサー®、スバイルフイル™アムダー、フットラップス®スキャンシステムを状況に応じて重ね着することで、濡れ戻りを防ぎ快適な暖かさを保ちます。高い透湿性能とベンチレーターの働きによる極めて広い対応温度域を実現します。中間着寄りの使い方はジャケット、アウター寄りの使い方はフーディ、EXジャケットと、好みに応じてチョイスしてください。



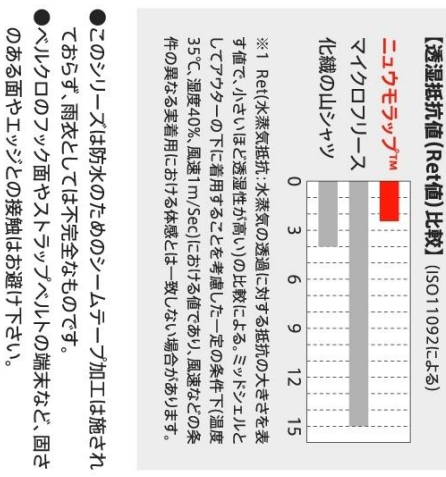
ランニング・トレイルランニング

夜間や高地を走るランニング・トレイルランにおけるアウターとしても最適です。ウインドブレーカーと比較し、悪天候への対応力、透湿性、保温性に優れ、最小限の装備の中で、最大限に安全・快適性を高めます。使用しない時もコンパクトに収納可能。フットラップス®スキャンシステム、ラミネーション™との重ね着がおすす、フーディ、ジャケットモデルをフートの有無の好みで選んでください。



自転車

極めて高い透湿性と、実戦的なベンチレーター、万全な防風性を誇り、クライム時の激しい発汗対策と、ダウンヒル時の風対策の両面で高い性能を必要とする自転車用のアウターとしても適しています。ペーシレイヤーに耐久撥水のフットラップス®スキャンシステム、その上にトラウトセンサー™を重ね着します。気温が低めの時期には、ジャケット、フーディモデルは非常に薄いため、中間着としてタイントな自転車専用アウターの下への着用も可能です。



- このシリーズは防水のためのシームテープ加工は施されておらず、雨衣としては不完全なものです。
- ヘルメットのフック面やストラップベルトの端末など、固さのある面やエッジとの接触はお避け下さい。



ニュウモラップ™ ジャケット
 MENS ¥22,050(¥21,000) #FAM0111
 [サイズ]S・M・L・XL
 [カラー]BB(ブラック) BR(ブルー) BK(ブラック)
 [重さ]198g



ニュウモラップ™ ジャケット
 WOMENS ¥21,000(¥20,000) #FAM0111
 [サイズ]S・M・L
 [カラー]AG(アグアブルー) AQ(アークブルー) BR(ブルー)
 [重さ]178g



ニュウモラップ™ ツーデー
 MENS ¥24,150(¥23,000) #FAM0112
 [サイズ]S・M・L・XL
 [カラー]BB(ブラック) BR(ブルー) BK(ブラック)
 [重さ]220g



ニュウモラップ™ ツーデー
 WOMENS ¥23,100(¥22,000) #FAM0112
 [サイズ]S・M・L
 [カラー]AG(アグアブルー) AQ(アークブルー) BR(ブルー)
 [重さ]201g



【フード使用図】

ニュウモラップ™ ジャケット (表:ポリエステル100%、裏:ポリエステル100%、ePTFEラミネート)
 表地に20デニールポリエステルのハイテク糸を高密度に編みあげた生地を、裏地に20デニールポリエステルを使用。非常にしなやかで、クрас最高レベルの軽量性を表現した生地を採用。収納時も非常にコンパクトな中間着として使いやすいヘーシックなモデルです。

ニュウモラップ™ ツーデー

ニュウモラップ™ ジャケットと同じ生地を採用。ヘルメットの下にも使用可能な薄手のフード、フロントに止水フラスナーを採用するなど、発汗の多いスポーツのアウトアースにも適しています。

ニュウモラップ™ EX ジャケット (表:ナイロン100%、裏:ポリエステル100%、ePTFEラミネート)

表地に30デニールナイロンタリル糸を高密度に編みあげた生地を、裏地に50デニールポリエステルを使用し、軽量ながらしっかりと感があり、なめらかなタッチが特長です。

アクティビティ別 着用チャート	冬期・厳冬期登山 バックカントリー	春から秋の登山 [穏やかな天候の 残雪期含む]	ランニング トレイルランニング	自転車
ニュウモラップ™ ジャケット	Out △ Mid ◎	○ ◎	○ △	◎ ○
ニュウモラップ™ ツーデー	Out △ Mid ◎	○ ◎	△ ◎	○ △
ニュウモラップ™ EX ジャケット	Out ◎ Mid ○	○ ◎	△ △	○ △

Out= アウターとしての着用 Mid= 中間着としての着用 ◎= 最適 ○= 適 △= 使用可



ニュウモラップ™ EX ジャケット
 MENS ¥27,300(¥26,000) #FAM0121
 [サイズ]S・M・L・XL
 [カラー]BK(ブラック) PM(パーム) ST(ストーン)
 [重さ]382g



ニュウモラップ™ EX ジャケット
 WOMENS ¥26,250(¥25,000) #FAM0121
 [サイズ]S・M・L
 [カラー]RG(ルーゼ) ST(ストーン) PM(パーム)
 [重さ]332g

フットラッシュ® スキンメッシュソックス

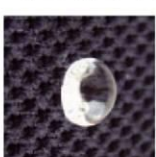


ソックスもレイヤリングで快適に!

汗・水の濡れ戻りを防ぎ
 苛酷な足元の環境を改善する
 新提案の耐久撥水インナーソックス

汗や水の濡れ戻りを防ぐ

フットラッシュ® スキンメッシュソックスを直接履くことで、吸汗性ソックスに移行した汗や外からの漏水を、優れた撥水効果で肌面に戻る事を防ぎ、肌をドライに保ちます。濡れたままのソックスを履き続ける事によって生じる冷え、靴ずれ、臭いといった問題を軽減します。

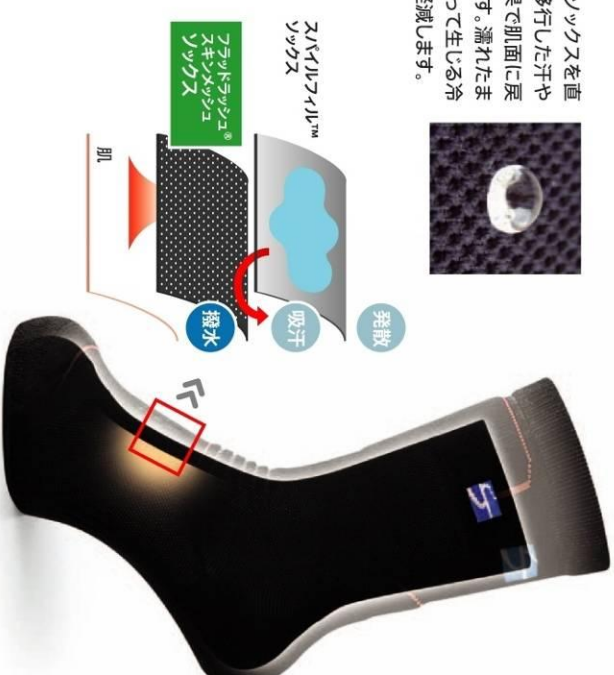


安定した保温性

フットラッシュ® スキンメッシュソックスは生地自体がほとんど保水しない為、たとえ上に着用している吸汗性ソックスが濡れた場合でも保温性の低下が少なく、足先の冷え感を低減します。

防臭性

撥水の効果は汗や水分の残留を抑えるため、汗成分により発生する嫌な臭いも防ぐ効果があります。



アクティビティ別使用方法

1. 登山・トレッキング

歩行中にかく汗や雨の歩行などによって濡れたままのソックスで歩き続けることは、不快だけでなく、靴ずれを誘発しやすくなります。また、冬季や高所においては足先の冷えにつながり、ひどい場合には凍傷の危険にもつながります。フットラッシュ® スキンメッシュソックスを吸汗性ソックスの下に着用することで、肌の濡れを抑えることができます。スバイルフイル™ アルパインソックスとの組み合わせがお勧めです。

2. バックカントリースキー・スノーボード

ハイグリップと滑降の繰り返しで常に汗をかき続けるため、密閉されたブーツは足にとって苛酷な環境となります。濡れたソックスはなかなか乾かず、足の冷えや靴ずれに常に悩まされている方は多いことでしょう。フットラッシュ® スキンメッシュソックスを着用することで、たとえ上に着用している吸汗性ソックスが濡れていても、足の濡れを感じにくくなります。

スバイルフイル™ スキーソックスとの組み合わせがお勧めです。

3. 沢登り

沢登りでは、水中保温性に優れたネオプレン等のソックスが多用されます。ただ、現実の沢登りでは、下山やアフロ一手などで長い距離を歩かなくてはならないことも多く、蒸れやすく、濡れるといつまでも乾かないネオプレンは水から上がった後、速く乾くとは言えないものでした。

フットラッシュ® スキンメッシュソックスは優れた撥水性によりきわめて水切れが早く、水分を速やかに外側に着用した吸汗性ソックスに移行します。これにより、頻繁に水に入りする沢登りや下山時などの快適性が大きく向上します。スバイルフイル™ アルパインソックスとの組み合わせがお勧め。

吸汗性のソックスの下に履くことで、肌をドライに保ち、不快な濡れを軽減する新発想の耐久撥水インナーソックス。冷え、靴ずれ、臭いといった皮膚の濡れからくるさまざまな足のトラブルを抑制します。インナーソックスとしての使いやすさを追求、肌のストレッチとなるつま先の縫い目のごろつきを最小限にするため1足ずつかなり縫いで丁寧に仕上げました。吸汗拡散性、耐久性などに優れたスバイルフイル™ ソックスとベストマッチ。足先の冷えなどに悩まされるバックカントリースキー・スノーボードなどはおちるん、オールドマンの登山、沢登りなどで足元の環境を快適にします。

開発の背景

足の皮膚の濡れは、冷え、靴ずれ、臭いなどさまざまな不快な足のトラブルの原因となります。しかし、いかにソックスの性能が向上したとしても、密閉された状態に近いシューズやブーツの中で、常に汗や漏水にさらされる足をドライに保つことは非常に困難でした。

そこで、finetrackでは、フットラッシュ® スキンメッシュで培った技術を活用、レイヤリングでソックスの濡れを解決するアフロ一手を考えました。激しい摩擦や圧力にさらされるソックス、特に耐久性の面でハートルの高い開発でしたが、製法と使用する糸の改良に加え、爪先やかかと付近をストレッチの強さに応じ最適な糸と編み構造を適用して強化することにより、問題をクリア。フットラッシュ® スキンメッシュシリーズに待望のソックスが加わりました。

フットラッシュ® スキンメッシュ
 ソックス
 UNISEX ¥2,730(¥2,600)
 #FS000201
 [サイズ] S(22~24cm)
 M(24~26cm)
 L(26~28cm)
 [カラー] BK(ブラック)
 【重さ】20g



*ウエアの裾などにあるベルクロは、ニット製品のフットラッシュ® スキンメッシュソックスに引っかき傷を作ってしまうので、あたらぬように取り扱ってください。

非常用だからこそ快適さが必要

対結露性・軽量化、そして耐久性を追求した安全の為に必須アイテム

取付テラスでビーク後の棚掛け
南アルプス・北岳ハイットスクライミング

新開発のダイニーマ®テープを使用した、新フローテイングテンスヨンステムを採用！
全方向の強度バランスが向上し、一段と強度アップ！

新開発の防水・透湿生地を使用し、超軽量・コンパクトでありながら対結露性能に優れたツェルトです。各辺を極めて強度の高いダイニーマ®テープで補強。生地に負担をかけることなく、高いテングションを掛けた設営が可能。非常用のみならず、積極的にテングションに使用できる優れた強度と快適性、居住性も実現しました。
登山・トレッキング、クライミング、スキーツアー、沢登りなどでザックの片隅に常時携行する安全グッズとして、また超軽量のシエルトとして、ご活用ください。

開発の背景

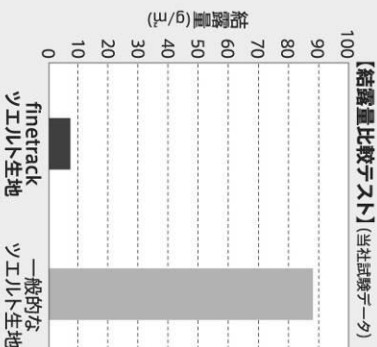
従来の軽量コンパクトなツェルトといえば、防水コーティングを施したのみで、透湿性がなく、ツェルトの狭い空間において外気温との著しい温度差ともあいまって、簡単に結露してしまい、その使用感はいかに快適と程遠いものでした。また、生地の強度の問題で設営時に十分なテングションをかけることが難しく、特に風の強いときの居住性は大変低いものでした。
一方で防水透湿性生地を使用したツェルトは重くかさばるものになってしまい、ツェルトの大きなメリットが失われてしまいます。

積極的に使用する場合はもちろん、非常用だからこそ軽量コンパクトなまま、結露の抑制による快適性の向上は必須であると考えたfinetrackは、超軽量の高強カナイロンリッツトップに防水透湿性コーティングを施した生地を新開発。生地厚・重量を増加させることなく、ツェルトに十分な防水性と優れた透湿性を付加することに成功しました。
さらに、新開発のダイニーマ®テープを使用、生地に負担をかけずに高い強度を実現する独自の設営システム、新フローテイングテンスヨンステムを開発。高い強度と居住性の向上も実現しました。

高い透湿性(対結露性)

超軽量のナイロンリッツトップ生地に新開発の防水透湿性コーティングを施し、生地厚・重量を増加させることなく、ツェルトに十分な防水性と優れた透湿性を付加することに成功。ツェルトでビークするのを想定した実験では、一般的なツェルト生地比べると12分の1以下の結露量に抑えることができました。ビーク時、雨はしなくても内部からの濡れですぐぬれなくなってしまふ、そんな不快感を大きく軽減します。

※暑い目のシューテータ加工は施されておりませんが、表生地側に市販されている一般的なシュームコート剤を使用することは可能です。



テスト条件: 40℃のお湯が入っているビーカーに生地を密着させて密封し、そのビーカーを10℃60%の調湿ルームに1時間入れておく。生地に付いている結露量を測定。

優れた居住性

生地に直接力がかかる構造の一般的なツェルトは、設営時に十分なテングションを掛けることができない上に、濡れると伸びにより大きくなるのでしまいます。
finetrackのツェルトは各辺にしっかりとテングションを掛けて設営可能なフローテイングテンスヨンステムを備え、独自のカッターノックと、吸水せずほとんど伸びがないダイニーマ®テープの性質を生かす、濡れてもたまるみの少ない構造も実現。広い居住空間を確保することができ、特に悪天候時にその効果を実感できるでしょう。

高い強度を実現する独自の設営システム

張力のかかる各辺(ピコシエルトターは天頂部のみ)に合成繊維の最高レベルの強度を持つダイニーマ®テープを縫い込み、高い引っ張り強度を実現。生地に負担をかけることなくしっかりとテングションを掛けて設営することが可能で、超軽量の生地を使用を可能にしました。ツェルト生地は、長期間の使用に伴う紫外線や風雨の影響で強度が次第に低下しますが、この設営システムにより、生地強度低下による破壊の危険性を軽減、安全性を高めています。



超軽量・コンパクト

2~3人用の「ツェルトII」でも340g、1~2人用の「ツェルトI」で248g、最も小さい1~2人用の「ピコシエルトター」では142gとテラス最高レベルの軽量コンパクト性を実現。また、生地外側には耐久撥水加工(80点/50洗※)を施しており、生地自体が濡れにくいいため、使用後の撤収もかさばらず重くならず、容易に行うことが可能です。
※洗濯50回後においても撥水度80点(USL1092法)



素材: 超軽量の防水透湿生地

(糸) エステル100%、PU透湿コーティング、耐久撥水加工) 15デニール高強カナイロンリッツトップ生地(ホリウレット) 透湿性コーティングを施し、超軽量ながらツェルトとしては十分な耐水圧1,000mm、透湿性8,000g(A-1法)を実現。生地表面に耐久撥水加工(80点/50洗)を施しています。

ツェルト

RENEWAL



いつでも携帯したい本場に使えるお守り

ピコシエルト(1~2人用)

#9,975 (¥9,500) #FAG0106 [カラー]06(オレンジ)

#11,200 (¥11,000) #FAG0106 [カラー]10(オレンジ)

[サイズ]120×75×95cm [収納時]7×5×9cm

[重量]142g



かぶって使用



入ロクアスナーはベンチレーターも開放すること出来る

たとえガイト登山であっても、想定外のトラップル・悪天候による停滞やヒバークを強いられることもあります。そんな場面でも、風雨を遮る一枚の布が生死を分けることがあるのです。成人2人が座って待避・休憩できるサイズに設計したピコシエルト。非常時にクイックに取り出し、危険回避を計るセイトライツールとしてご使用ください。ポーチのようにかぶって使うことも可能で、雨具を忘れたときの代わりのほか、ブラス1枚の防寒着にもなります。わずか142gの本場に使えるお守りです。



最低限の居住性と軽量性を両立したスタンダードモデル

ツェルト I (1~2人用)

#15,750 (¥15,000) #FAG0104 [カラー]06(オレンジ)

#15,750 (¥15,000) #FAG0104 [カラー]10(オレンジ)

[サイズ]200(天頂部)120cm×80×90cm

[収納時]9.5×4.5×14cm

[重量]248g



換気用メッシュ



1~2人用の非常用ツェルト。ヒバーク時には何とかが成人2人が寝ることを可能にし、座って待避・休憩する場合は3~4人が寝ることができます。ベンチレーターには悪天時に発生しやすいアゴや蚊の侵入を防ぐメッシュを採用。ブラス1開閉の入口は1ヶ所。グラウンシートにはフックはありませんが、透湿コーティングを施した1~2人用としては超軽量の248g(本体)。



積極的にテント代わりに使いたい仕様を備えた居住性重視モデル

ツェルト II (2~3人用)

#19,950 (¥19,000) #FAG0105 [カラー]06(オレンジ)

#19,950 (¥19,000) #FAG0105 [カラー]10(オレンジ)

[サイズ]200(天頂部)150cm×100×95cm

[収納時]10×5×16cm

[重量]340g



グラウンシート



サイドブラスナー使用

2~3人用の非常用ツェルト。成人2人が余裕を持って寝ることを可能にし、座って待避・休憩する場合は4~5人が寝ることができます。メッシュベンチレーター、およびブラスナー開閉の入口は2ヶ所。土や雪の侵入を防ぐフック付きグラウンシート(ヒモ編めて全開可能)、居住性をアップさせるサイドブラスナーなど、積極的に簡易テントとして使える仕様を備えています。ツェルトIと同様超軽量340g(本体)。

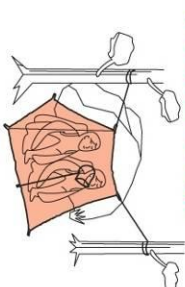
価格の表示は税込価格、()は本体価格です。直定は参考値です。

※振動・ポール・ベグは付属していません。

※上記以外にも様々な応用が可能です。ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをすすめします。

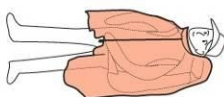
使い方 【ピコシエルト】

① シェルターとして使用



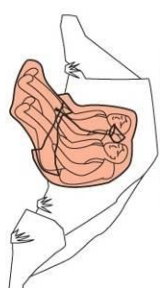
ヒバークを強いられる場合は、まず安全な場所を見つけ、服をすべて着込みます。雨蓋や荷物の一部をお尻に敷き、サブクを背側に置いて斜面や木立によるかかるところに座り、頭からピコシエルトを被ってください。ツェルトと体との間に少しでもクリアランスを確保するのがコツです。手持ちの細引きなどで天頂部を吊り、可能ならばさらに四隅をベグダウンして設置することで、空間が広がり、より快適になります。

② ポンチヨ代わりで使用



ベンチレーターは頭を出すことが可能なサイズのため、ポーチヨのように使用することもできます。雨具を忘れた、もしくは失くしたメンバーのための予備として、またブラス一枚の防寒具として雨具の上からかぶってでも有効です。

③ ピコシエルトを2つを合わせて使用



ピコシエルトを各自が安全装備として持つことで、2つをつなげて使用することも可能、それぞれ一人ずつヒバークするよりも快適になります。ひとつのピコシエルトに足から入り、もう一つを頭からかぶります。サブクや荷物を活用し、ツェルトの布と布の間にクリアランスを作るのがコツ。横になることも可能です。

使い方 【ツェルト】

① スタック、ポール等を利用して設置



居住性重視の最も基本的な設置方法です。積極的にテント代わりに使用する場合など、この方法を使用します。ポール代わりに直接木などに結び付けてもOK。事前にフロアを閉じてから設置するのがポイントです。

② かぶったり、包まって使用



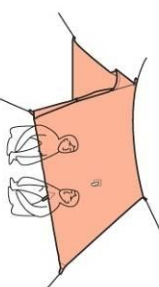
設置の必要がなく最も簡単なため、緊急時や、ちょっとした休憩時に風を防ぐための使用方法です。一度に多人数を収容可能です。

③ 雪洞のふたとして使用



冬季・残雪期に雪洞泊を行う際も、入口のふたとして使用し簡単に風雪が吹き込むことを防ぐことができます。

④ タープとして利用(ツェルトIIのみ)



ツェルトの底を開放してタープとして使用することで、広い面積で雨をしのぐことができます。

⑤ 岩場でセルフピレインを取って使用



アールバンクラミングでのヒバークなど、岩場で振る場合は、ツェルト内部にメインロープを通してセルフピレインを取ることが可能です。(ツェルトIは片側からのみヒレイン可能)

※上記以外にも様々な応用が可能です。ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをすすめします。